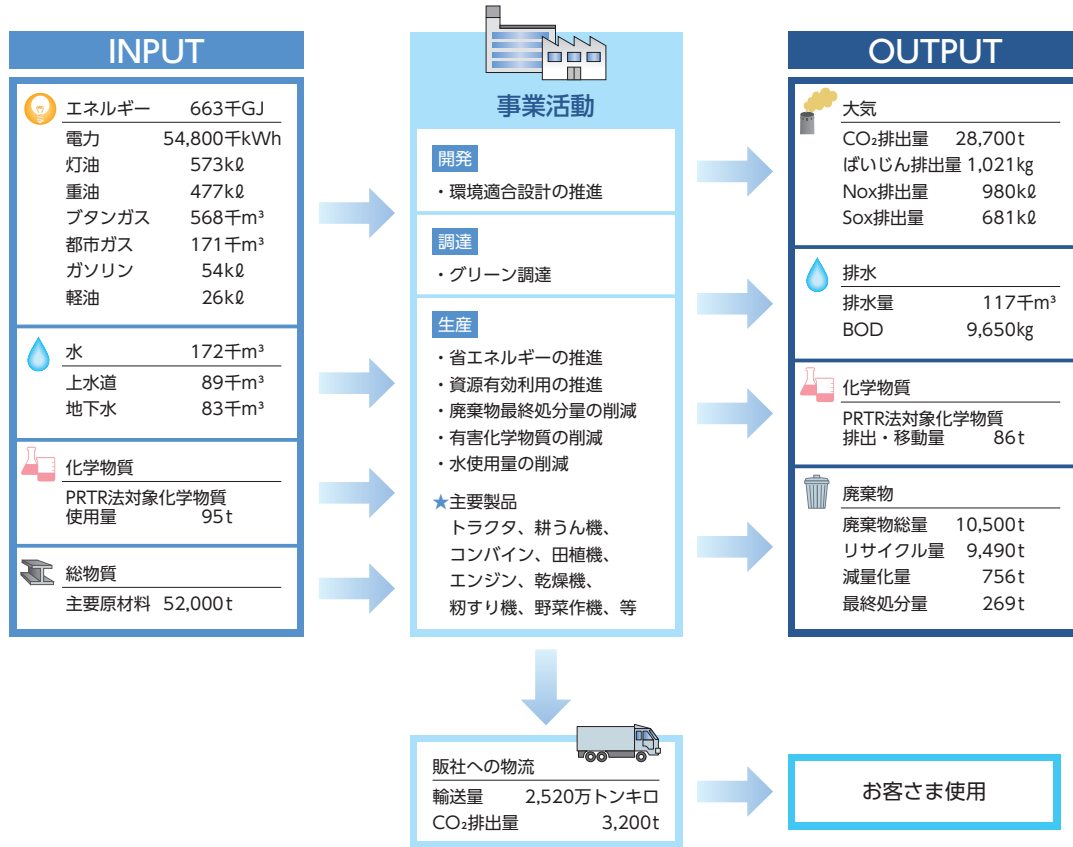


事業活動と環境負荷

エコバランス

井関グループ 国内3製造所では、商品を製造する過程で使用する電力・燃料・水・原材料等の資源を投入し、二酸化炭素 (CO₂) ・PRTR法 (化学物質排出把握管理促進法) 対象の化学物質・廃棄物等を環境へ排出しています。それぞれの投入量 (INPUT) ・排出量 (OUTPUT) を把握し、環境負荷の少ない事業活動を実現するため、使用量・排出量の削減に取り組んでいます。



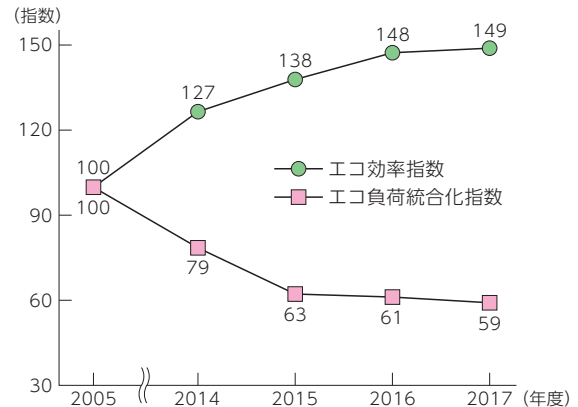
エコ効率

持続可能な社会の実現には、エコ効率性の向上が重要です。エコ効率は、商品もしくはサービスの価値を環境負荷で除した値で表されますが、当社の場合、「エコ効率=生産高÷環境負荷」とし、エコ効率指数・エコ負荷統合化指数でエコ効率性を評価しています。基準年2005年度を100とした指数に対し、2017年度実績のエコ効率指数は149、エコ負荷統合化指数は59と改善しています。

環境負荷の統合化とエコ効率

個別項目	統合化係数	2005年		2017年	
		実数 (t)	統合化数	実数 (t)	統合化数
CO ₂ 排出量	1	34,600	34,600	28,717	28,717
非メタンVOCの 排出量・移動量	239	174	41,500	85	20,243
埋立廃棄物量	3	2,750	8,260	269	807
環境負荷統合化数合計	-	-	84,300	-	49,767
エコ効率	-	-	83	-	124
エコ負荷統合化指数 (2005年基準)	-	-	100	-	59
エコ効率指数 (2005年基準)	-	-	100	-	149

エコ効率指数とエコ負荷統合化指数の推移



★エコ効率指数：高いほど効率がよい

★エコ負荷統合化指数：低いほど環境負荷が小さい

※3製造所：井関松山製造所・井関熊本製造所・井関新潟製造所。
 ※井関邦栄製造所は、2018年1月井関松山製造所と合併しました。